

報道関係者各位

## インフルエンザ患者数増加に伴う注意喚起について

山形県感染症発生動向調査令和 8 年第 7 週（2 月 9 日～2 月 15 日）における急性呼吸器感染症定点医療機関（県内 39 カ所）からのインフルエンザ患者報告数が、一定点あたり 31.38 となり、警報レベル(参考値)（一定点あたり 30）以上の感染者数となりました。

つきましては、県民の皆様への注意喚起に御協力くださるようお願いいたします。

### 1 感染症発生動向調査による一定点医療機関あたりの患者報告数

	第 5 週 (1/26～2/1)	第 6 週 (2/2～2/8)	第 7 週 (2/9～2/15)
山形県	20.23	29.28	31.38
山形市	29.71	42.43	44.86
村山	24.30	38.00	41.80
最上	10.00	7.50	16.25
置賜	25.67	34.33	35.00
庄内	12.00	19.08	18.08
全 国	30.03	43.34	集計中

### 2 迅速検査キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数（県全体） （定点医療機関からの報告）

	第 5 週	第 6 週	第 7 週
A 型	70 件	45 件	32 件
B 型	717 件	1,093 件	1,192 件
AB 両型	—	1 件	—
型別不明	2 件	3 件	—

### 3 インフルエンザについて

- ・ 1～3 日間の潜伏期間を経て、突然の高熱とともに、関節痛、筋肉痛などの全身症状が現れるのが特徴で、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。普通の風邪と比べて全身症状が強いのが特徴です。
- ・ 飛沫感染と接触感染により感染します。

### 4 基本的な感染対策について

- ・ 日頃から体温や健康状態のセルフチェックを行い、「場面や状況に応じた適切なマスクの着用」、「換気」、「手指消毒」による予防を心がけてください。
- ・ 高齢者や乳幼児が感染すると重症化する場合があります。重症化を予防するには、インフルエンザワクチンの予防接種が効果的です。

問合せ先 健康福祉部健康福祉企画課  
課長補佐 濱本 幸樹  
023-630-2292  
広 報 監 健康福祉部次長 菅原 正春